

登録番号

20271

作品名

阪神電車 福島駅

写真上：地下1階コンコース

写真下：地下2階プラットフォーム



コメント

福島駅は、大阪市と共同で進めてきた立体交差事業により新しく地下駅として生まれ変わった。駅デザインは立地の読み込みをもとに、都市の持つ機能性と非戦災地に残る温かい庶民性を、形や素材・色を対比させる中に調和を図る形で表現することを基本にまとめている。こうした中で、素材的に「都市」を表現しながら曲面や色で「あたたかい庶民性」も表現できるネオバリエは最適な材料であった。



コンコース中央付近にある「光壁」

この部分は、透光性のグレアの背面に灯具を配することで柔らかい光を透過させた壁でダクトスペースを囲ったもの